

7. 河川空間の利用状況

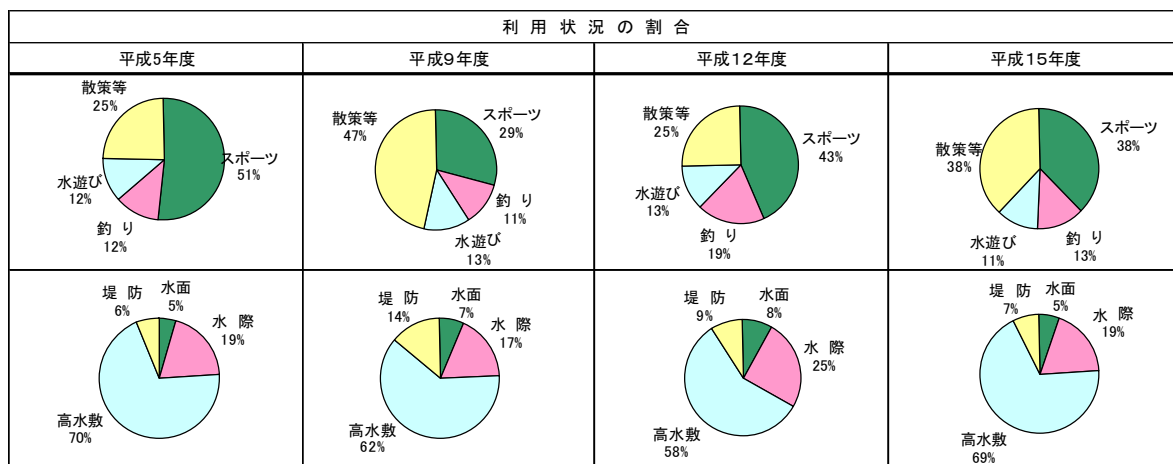
7.1. 河川の利用状況

7.1.1. 空間利用状況

平成15年度の空間利用実態調査によると、吉野川の河川利用は、特にスポーツ、散策等による高水敷の利用が多い。年間の全体的な利用者は、約141万人で、沿川市町村人口からみた年間平均利用回数は約2.2回となる。吉野川は、高水敷がグラウンドや河川利用施設として整備されている箇所が点在し、スポーツやレクリエーションの活動の場として広く利用されるとともに、日常的な河川空間利用も多いと考えられる。

表－7.1 吉野川の年間河川空間利用状況

区分	項目	年間推定値(千人)			
		平成5年度	平成9年度	平成12年度	平成15年度
利用形態別	スポーツ	638	660	512	528
	釣り	146	258	224	182
	水遊び	149	284	149	160
	散策等	304	1053	299	537
	合計	1237	2255	1184	1407
利用場所別	水面	56	150	98	76
	水際	240	382	295	266
	高水敷	867	1400	682	963
	堤防	75	313	110	102
	合計	1238	2245	1185	1407



7.1.2. 舟運

吉野川における通年の舟運は、旧吉野川、今切川の河口部が港湾区域と重複していることから、工業の材料、製品の運搬に利用されている。また、このほか、レクリエーションとしてウェークボード、ヨット等の利用も見られる。

吉野川を代表する川船といえば楫取舟(カンドリ舟)であり、アユ漁に携わる漁師に重宝されて根強い需要がある。また、旧吉野川ではブラックバス釣りのボートが利用されている。

上流部の渓谷ではその急流のスリルを楽しむラフティングが近年盛んである。また、大歩危下流の山城町大川持では、山城町が四国カヌーフェスティバルin吉野川を主催し、初心者カヌー教室や中上級者のカヌースラローム大会を行っている。

高知県本山町でも、吉野川カヌー大学が開かれ、カヌー人口の拡大を図っており、カヌー四国選手権大会も開催している。

大歩危・小歩危、美濃田の淵は、遊覧船が運航されており、「四国の水辺八十八ヶ所」にも選ばれている景勝地であることから、多くの観光客が訪れている。

7.1.3. 漁業

吉野川の漁業をみると、吉野川、旧吉野川で第5種共同漁業として、ウナギ、コイ、アユ、アマゴの漁が行われており、また、藻類、貝類としては、吉野川第十堰より下流、旧吉野川、今切川において第1種共同漁業として、アオノリ、シジミ、ハマグリ、ウスガイの採捕が行われている。また、吉野川河口から7km区間までは、第1種区画漁業としてノリの養殖が盛んに行われており、養殖適地のほとんどが利用されている。

表7.2 漁業の種類

区域	漁業種類	漁業の名称	主な魚類等	漁業組合数	備考
吉野川下流 (河口～岩津)	共同漁業	第1種	アオノリ、シジミ、ハマグリ、ウスガイ	10	
	共同漁業	第5種	ウナギ、コイ、アユ、アマゴ	1	
	区画漁業	第1種	ノリ	9	
吉野川上流 (岩津～池田)	共同漁業	第5種	ウナギ、コイ、アユ、アマゴ	1	
旧吉野川	共同漁業	第1種	シジミ、アオノリ	2	
	共同漁業	第5種	ウナギ、コイ、アユ、アマゴ	1	
	区画漁業	第1種	ノリ	1	
今切川	共同漁業	第1種	アオノリ、シジミ、ハマグリ、ウスガイ	4	

平成15年10月現在

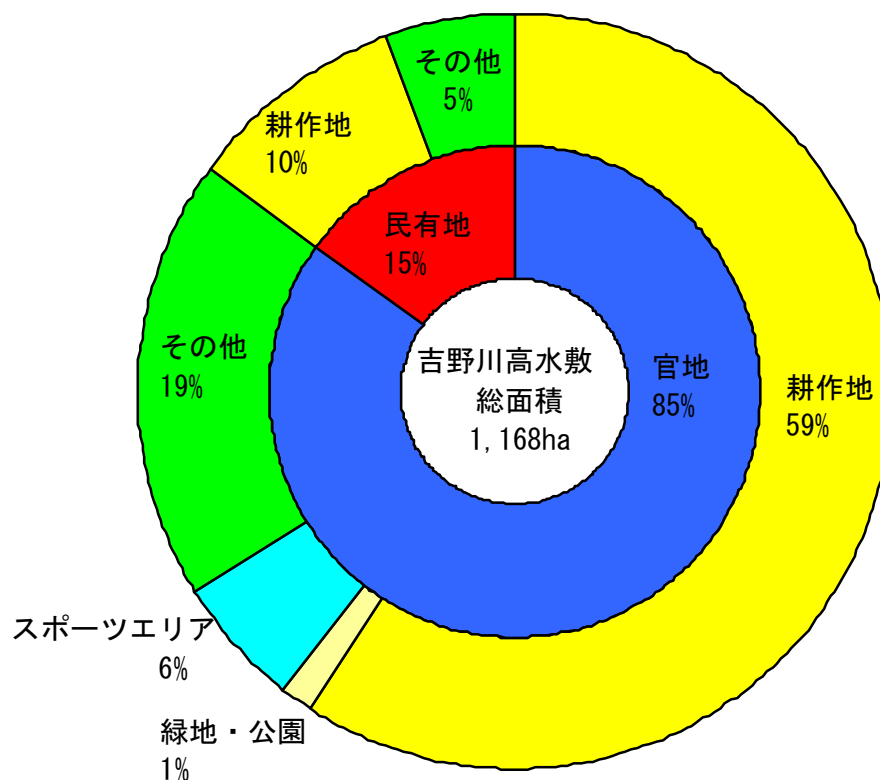
7.2. 河川敷の利用状況

7.2.1. 河川敷の利用状況

吉野川の直轄管理区間における高水敷は、約1,168haで、スポーツ、散策等の利用で年間約96万人(平成15年度)が利用している。高水敷のうち、約85%を官有地が占め、残りが民有地となっている。

官有地は、主に耕作地が多くを占め、中流から下流にかけて細長く展開しているが、河川利用施設(公園、運動場)の占用面積の割合は、それぞれ1%、6%となっている。民有地もその多くが耕作地として占められている。

公園や運動場は、人々のコミュニケーションの場、憩いの場としての利用を始めとして、吉野川フェスティバル等のイベントや野球、サッカー等のスポーツ大会会場としても利用されている。また、子供達の野外学習、環境学習等総合学習の場としても活発に利用され、現地見学会や水質調査、ボランティアによるゴミ拾い等、学校や各団体での様々な活動が行われている。



図ー7.1 高水敷の利用形態

吉野川の中流域（池田～第十堰湛水域）では、高水敷はグラウンド、畑作地として利用されている。また、「貞光ゆうゆうぱーく」や、「吉野川河畔ふれあい広場」等が整備され、スポーツや散策、自然体験活動等に利用されている。また、キャンプや水遊び等にも利用されている。

水辺の楽校「山川バンブーパーク」等が整備されており、高水敷の多目的広場や遊歩道を利用した散策等やスポーツの場として、多く利用されている。水辺は子供達の水遊びや生物観察の場となっている。

また、県立自然公園として整備されている「美濃田の淵」は、「四国の水辺八十八ヶ所」にも選ばれている景勝地として利用され、親しまれている。遊覧船も運行されており、多くの観光客が訪れている。

下流域（第十堰湛水域～河口）では、比較的広い高水敷が連続しており、グラウンドとして多くの周辺住民が利用しているほか、耕作地としても利用されている。

河口部の「徳島市民吉野川運動公園」は、様々なスポーツに利用されている。また、堤防の散策、水際の釣り、水上スキー等高水敷以外の利用も多い。また、夏には「吉野川フェスティバル」、秋には「阿波吉野川マラソン大会」等のイベントが催されている。第十堰周辺の水辺や、吉野川河口干潟は、「四国の水辺八十八ヶ所」にも選ばれているすばらしい景観を持ち、主に、水遊びや釣り、水生生物の観察会等に利用されている。

旧吉野川や今切川では、水辺に近づきやすい場所が多いこともあり、水辺を利用した釣りに多く利用されている。また、高水敷や堤防での散策にも利用されている。旧吉野川と今切川の分流点にある「三ツ合公園」では、「北島ひょうたん夏まつり」等のイベントも催されている。



出典) 徳島TOKUSHIDMA PHOTO COLLECTION
図-7.2 美濃田の淵



図-7.3 貞光ゆうゆうパーク付近



図-7.4 山川バンブーパーク



図-7.5 徳島市民吉野川運動広場



図-7.6 水生生物調査



図-7.7 善入寺島

表－7.3 吉野川の河川利用状況（主なイベント）

河川名	名称	期間	場所、内容
吉野川	吉野川水辺の探検イベント	6月中旬	【開催場所】 三加茂町（水辺の楽校） 【開催内容】 竹のこ狩り・竹を利用した机作り等
吉野川	吉野川フェスティバル	8月初旬	【開催場所】 吉野川橋一帯の河川敷緑地 【開催内容】 コンサート、ダンスパーティー、ビアガーデン、遊覧船、フリーマーケット等
吉野川	阿波吉野川マラソン大会	10月中旬	【開催場所】 吉野川河川敷 【開催内容】 マラソン大会
吉野川	ファミリーハゼ釣り大会	10月中旬	【開催場所】 吉野河口～名田橋の区間 【開催内容】 ハゼ釣り大会
吉野川	平成の渡し	10月中旬	【開催場所】 川島潜水橋付近 【開催内容】 渡し舟体験イベント
吉野川	ふれあい大会	10月下旬	【開催場所】 六条大橋 【開催内容】 ふれあい大会



たけのこ狩り

図ー7.8 吉野川水辺の探検イベント



図ー7.9 吉野川フェスティバル



図ー7.10 阿波吉野川マラソン大会



図ー7.11 ファミリーハゼ釣り大会



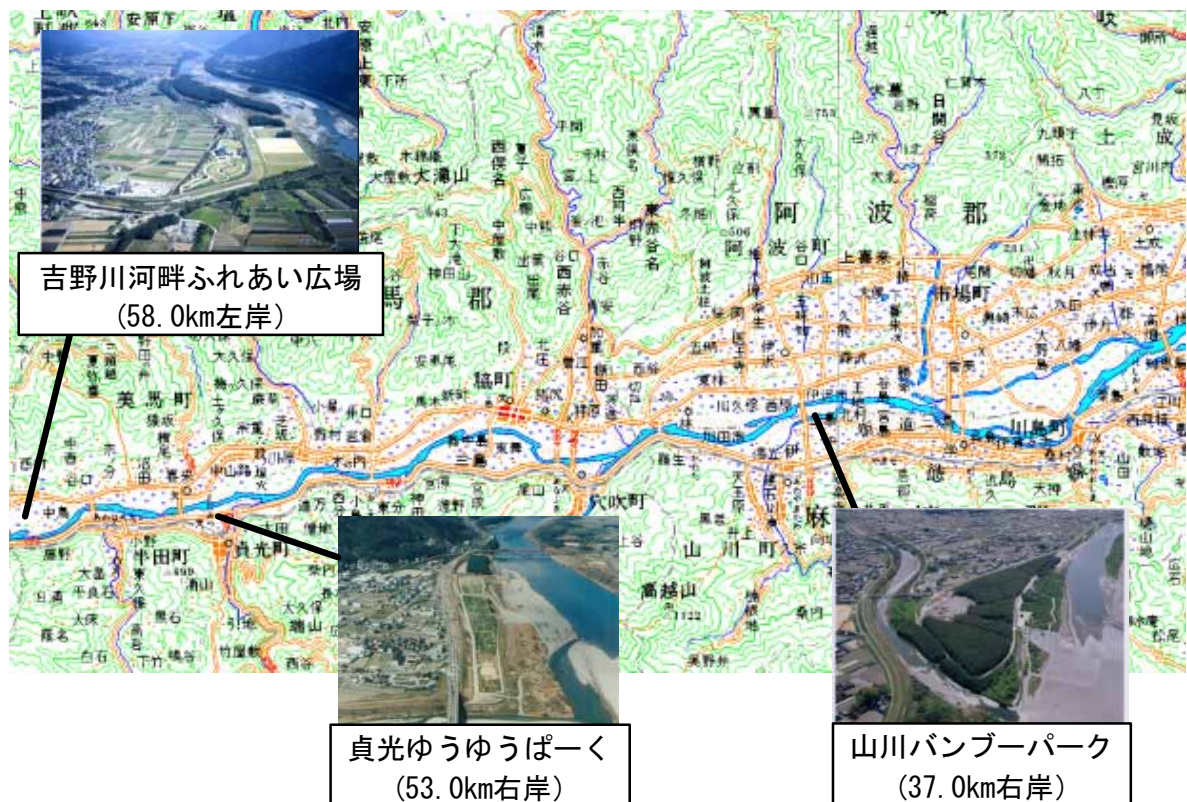
図ー7.12 平成の渡し



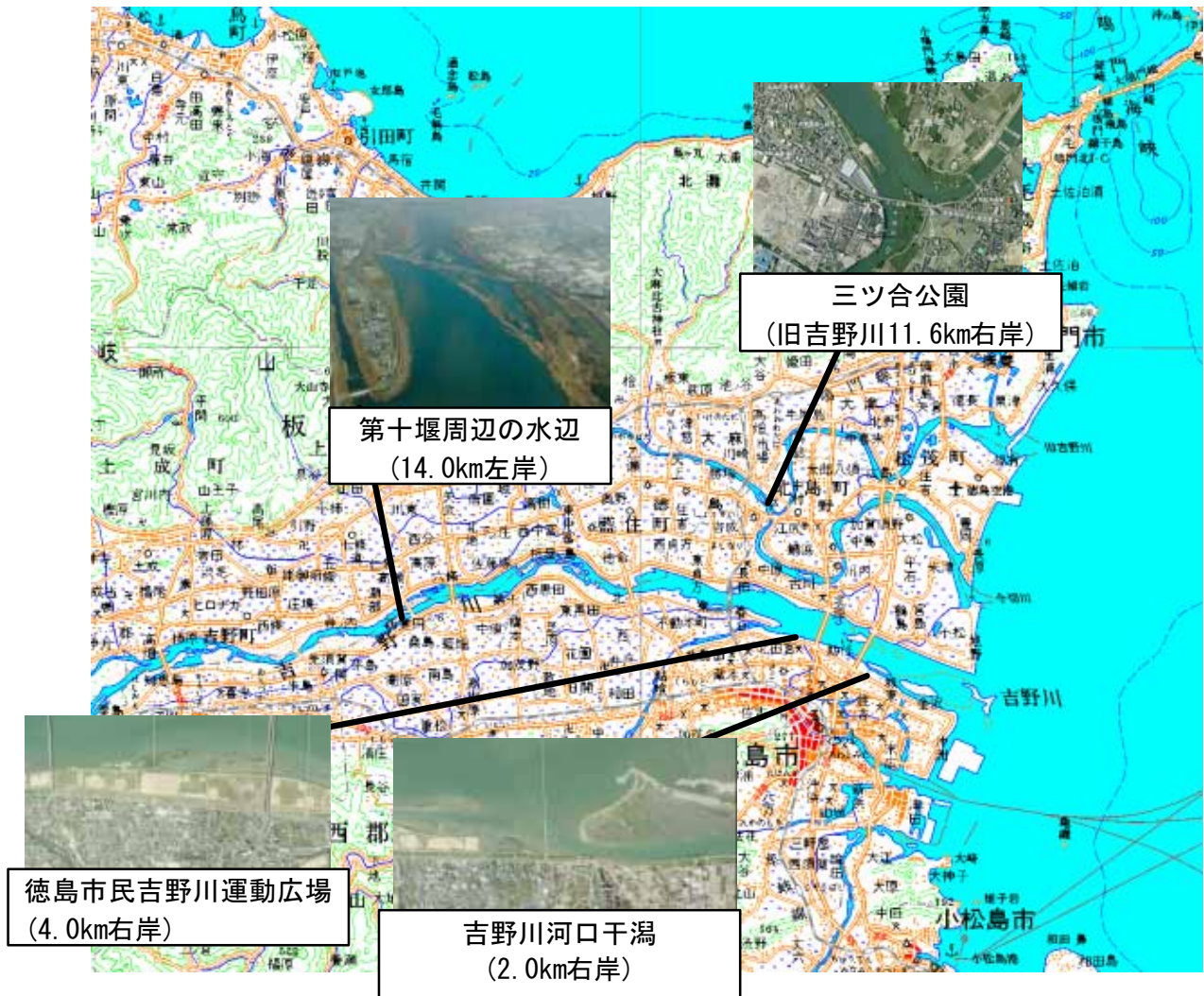
図ー7.13 ふれあい大会



図ー7.14(1) 吉野川(58.0k付近～池田77.7k)



図ー7.14(2) 吉野川(28.0k付近～58.0k付近)



図ー7.14(3) 吉野川(河口0.0k~28.0k付近)

7. 2. 2. 堤防の利用状況

吉野川の直轄管理区間(吉野川河口～池田ダム間)における堤防は、吉野川河口から岩津間が概成しており、その一部は占用道路として利用されている。占用となっている路線は57路線と多く、徳島市内への通勤にも利用される等、交通量が多い。

表－7. 4 堤防道路延長（占用道路）

吉野川右岸	延長
県道	33. 7 km
市町道	19. 9 km
国道	10. 5 km
小計	64. 1 km
吉野川左岸	延長
県道	27. 6 km
市町道	23. 4 km
小計	51. 0 km
旧吉野川	延長
市町道	3. 9 km
小計	3. 9 km
今切川	延長
県道	2. 0 km
市町道	1. 7 km
小計	3. 7 km
吉野川 計	122. 7 km



図－7. 15 占用道路